

## 令和7年度 地域連携推進会議録

1. 日 時 令和8年3月4日(水) 10:25~14:20

2. 場 所 社会福祉法人 愛の友協会 研修センター

3. 出 席 者

- (1) ご利用者代表
  - ・セルプ・しんゆう 1名
  - ・モア・しょうえい 1名
- (2) ご利用者家族
  - ・セルプ・しんゆう 1名
  - ・モア・しょうえい 1名
- (3) 地域の関係者
  - ・地域住民の代表者 1名
- (4) 福祉の知見者
  - ・近隣指定障害者支援施設 職員 1名
- (5) 町村担当者等
  - ・長生村役場 障害者支援課 1名
- (6) 施設職員
  - ・セルプ・しんゆう 職員 2名
  - ・モア・しょうえい 職員 2名
  - ・長生き邑 職員 1名
  - ・本部 職員 3名

4. 議事内容

《午前 10:25~11:35》

- (1) 開会
  - ・会議の式次第に則り、本会の流れを説明
  - ・出席者の紹介
  - ・出席者の写真撮影とそれを用いた情報公開についての承諾
- (2) 理事長より挨拶
  - ・法人理念についての説明、理念の目指すべきものについて
  - ・ご利用者の満足のための考え方  
引用：<ディズニールランド『キャストフォーゲスト』従業員はお客様の満足のために>  
当法人における働き方も同じ考えであり、これを基本として、①ご利用者の豊かな一日、②職員の働く環境、③地域への連携という3点を、当法人の理念に据えている。

### (3) 法人の地域に向けた取り組み

地域とのかかわりの一環として取り組む「芥川龍之介恋文大賞」を紹介

- ・恋文大賞をはじめた経緯
- ・今年度（第13回）の応募状況（443通の応募、海外（オランダ）からの応募）
- ・芥川家との関係や現在に至る経緯など

### (4) 法人の概要

- ・法人設立から現在に至る経緯について
- ・3施設をいずれも平屋構造としている意義（ご利用者の利便性のみならず、自主性の尊重）
- ・大学との取り組みについて（人材育成への貢献）
- ・外国人人材受け入れについて
- ・理念『共に考え、共に歩む』および基本方針について
- ・法人のロゴマーク「御衣黄（ぎょいこう）」の意味や由来について

### (5) 障がい者支援事業について

2つの障がい者支援施設の設立から現在に至る経緯と、その伝統を引き継ぐ現在の在り方について、説明。

#### ① セルプ・しんゆう

- ・前身は「身体障がい者授産施設（就労を通じて自活する施設）」  
（その伝統より、過去に「就労継続支援B型」に取り組んでおり、その流れから現在も就労活動（生産活動）が盛んである旨）
- ・自主生産の取組について  
（特に定期的に行う販売会がご利用者のモチベーションアップにつながっていることを紹介）
- ・障がい支援区分について（平均：4.66、区分5・6の方の占率（59.4%・22名））

#### ② モア・しょうえい

- ・前身は「身体障がい者療護施設」
- ・その伝統より自活が困難な身体障がい者に対し、リハビリや介護を提供している
- ・結果としてセルプ・しんゆうより、重度の方が多い
- ・日中活動の様子について
- ・障がい支援区分について（平均：5.49、区分5・6の方の占率（90%・27名））
- ・ご利用者の充実した生活をサポートしていくのが職員の使命である

#### ③ 両施設のデータ上の比較と共通する取り組み

- ・定員、男女比、身体障がいと知的障がいの比率について
- ・契約嘱託医との連携（当法人の看護師の、嘱託医における感染対策研修への参加による、緊急時に備えた知識・対応方法の習得）

(6) モア・しょうえいの事業・取り組みについて

- ・多様性の重視
- ・日中活動について
- ・行事の取組について
- ・委員会活動について
- ・外出支援の説明
- ・理美容について
- ・訪問歯科の利用について
- ・千葉県身体障がい者施設協議会について
- ・施設内観の明るさ
- ・イベント参加について
- ・ボランティア団体との活動について（ご利用者の衣類の補修など）
- ・絵画創作・音楽活動への特化について  
（季節に合わせた絵画作品の展示、展示によるモチベーションアップ、音楽やアートを通じた職員とご利用者の交流）

(7) セルプ・しんゆうの事業・取り組みについて

- ・日中活動（作業訓練・機能訓練）について
- ・作業訓練（下請け・自主生産）について
- ・機能訓練（塗り絵など）について
- ・「しんゆう展」について
- ・行事、クラブ活動、レクリエーションについて
- ・外出支援について
- ・理美容について
- ・訪問歯科の利用について
- ・委員会活動について
- ・「しんゆう懇談会」について
- ・住環境（ご利用者の視点に沿った開放的な環境）について
- ・67年以上の歴史がある強みについて
- ・下請け作業について（仕事を行う喜びや給料という対価による意欲向上）
- ・自主生産品の販売による地域とのつながりについて
- ・アットホームな雰囲気による家族に対する支援について

《午後 13:00~14:20》

(8) 施設内見学

- ・特別養護老人ホーム 長生き邑
- ・障がい者支援施設 セルプ・しんゆう
- ・障がい者支援施設 モア・しょうえい

(9) 質疑応答

《福祉の知見者 近隣指定障害者支援施設 職員》

- ・児童・障がい者・高齢者の支援形態が、愛の友協会と似ている
- ・知的障がいのある方と身体障がいのある方では、個性や取り組み方に違いがあるものの、行事などに対する熱心さは共通している
- ・施設見学までさせていただき、勉強させていただいた。

➡ (事務局回答：今後もお互いにお互いを高め合うような間柄でありたい。)

《地域住民の代表者》

- ・今後の利用者と地域のつながりは？

➡ (事務局回答：現在、今後の取組の検討をしている。また今後も、毎年、このような会を継続開催していきたい)

《モア・しょうえい ご利用者家族》

- ・3つの施設を見させていただいたのは有意義だった
- ・ご入居者の楽しみを実践してくれているのが感じ取れた  
食事の場面からもその取り組みが感じられた
- ・ご利用者の心に寄り添いながら、今後も支援を続けてほしい

(10) 閉会